

研究課題名「胆道閉鎖症患者における術後維持輸液の組成と血清 Na 値の後方視的検」に関する情報公開

1. 研究の対象

2003年1月から2017年12月までに当院で胆道閉鎖症に対しての根治術（再手術は含まない）を受けた患者さん。

2. 研究目的・方法・研究期間

手術後の絶食期間中に施された輸液の種類によって、術後に低ナトリウム血症を発症する危険性が最近言われています。当院では2014年以降に胆道閉鎖症術後患者さんの術後輸液の種類を一部変更しました。そこで、この変更が体内の電解質にどのような影響を及ぼしているかどうかを調べ、今後の輸液治療の適正化を図りたいと思います。

2003年1月から2017年12月までに当科で胆道閉鎖症の根治術を受けた患者さんのカルテを参照します。研究期間は2023年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：とくにありません。

情報：カルテ番号、生年月日、病歴、術式、手術記録、輸液の種類や量、血液検査データ等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話：052-744-2959

担当者：名古屋大学医学部附属病院 小児外科 医師 横田一樹

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学 内田広夫